

1 教育方針（めざす子ども像）

- (1) 豊かな心情をもち、主体的に生きる。
- (2) 進んで学習に取り組み、言語力や思考力を身につける。
- (3) 互いに尊重しあい、自主的に行動する。
- (4) 自分の考えを表現し、伝え合う。

2 教育目標

『 強く 正しく 朗らかに 』

自己の障がいを知り、自らの言語力の向上に努め、確かな判断力と実行力をもつ、健康で情操豊かな人間を育成する。

3 学校目標（教職員の指導の重点）

- (1) 夢や希望を抱き、生き生きとした自主的な活動の充実に努める。
- (2) 言語力を培い、基礎学力を身につけ、主体的に学ぶ態度の育成に努める。
- (3) いろいろな人とふれあい、学び合い、育ち合う中で、生きる力を育てる。
- (4) 豊かなコミュニケーションを図る中で、個に応じた指導に努める。

4 目指す学校像

- (1) 幼稚部から高等部までの一貫した専門性豊かな聴覚障害教育を推進する学校。
- (2) 自立と社会参加に向けて、個に応じた資質の向上を図る学校。
- (3) 聴覚障害教育の専門性をもち、聴覚障害教育のセンター校としての役割を担う学校。
- (4) 健康と安全教育を推進し、環境づくりを行うことで事故を未然に防ぐ学校。
- (5) 教職員一人一人が法令を遵守し、相互連携による組織的な運営を推進する学校。

5 重点目標

- (1) 豊かな言語力の育成と確かな学力の育成
 - ①個の実態に応じたコミュニケーション手段の伸長を図り、豊かな日本語の習得を目指す。
 - ②子どもが「わかる」授業を実践し、自ら学ぶ意欲を高め、思考力・判断力・表現力を育成する。
 - ③個別の教育支援計画や個別の指導計画・年間計画等、教育計画の立案と効果的な実践に努める。
 - ④社会を生き抜く力につながる生涯学習の基盤となる家庭学習の習慣化を保護者と協力して目指す。
- (2) 豊かな心と社会性を育む指導の充実
 - ①多様な体験活動や交流・共同学習等を実践し、良好な人間関係の形成と個性の伸長を図る。
 - ②全校活動や異年齢集団活動を計画的に実施し、集団生活への適応能力・リーダー性を育成する。
 - ③社会生活における自立を目指したキャリア教育を充実させ、推進に努める。
 - ④読書活動を充実させ豊かな感性を育てる。
- (3) 聴覚障害教育のセンター的機能の充実と推進
 - ①保護者や医療・保健機関等と連携した、早期教育を充実させる。
 - ②地域の学校・関係機関と連携を図り、通級指導、教育相談の支援・指導を充実させる。
 - ③インクルーシブ教育の推進、障害に関する法令の制定に伴って、地域の学校からの指導支援の要請や相談に応じる。
 - ④学校公開や学校便り・ホームページ等で本校の機能を発信する。
- (4) 健康で安全な学校生活の充実
 - ①防犯・防災に対する意識を育て、犯罪や災害に自ら対応する力を育成する。
 - ②自他の命と心を大切にし、人権を守る意識を育成する。
 - ③心身の調和的発達に配慮し、自らの健康を自ら維持する姿勢を育成する。
 - ④安全な社会はルールに基づいて成立していること等、規範意識の育成に努める。